



市議会だより

かいなん

No. 71
2022.11.1

発行

海南市議会
TEL (073) 483-8700
FAX (073) 483-8703

編集

議会広報委員会



9月定例会

令和3年度決算認定	2
主な議案・補正予算	6
所管事務調査	10
一般質問	12
小学生議場見学	16

海南市議会
Facebook
配信中!



Facebook QRコード



9月 定例会

令和4年9月定例会は、9月1日から9月26日までの26日間の会期で開かれました。

この議会には、市長から令和3年度歳入歳出決算の認定や補正予算など議案20件が提出されました。また、議員提出議案（発議）が3件、請願が1件提出されました。

令和3年度決算 一般会計は歳入・歳出とも減少

歳入 13.2%減

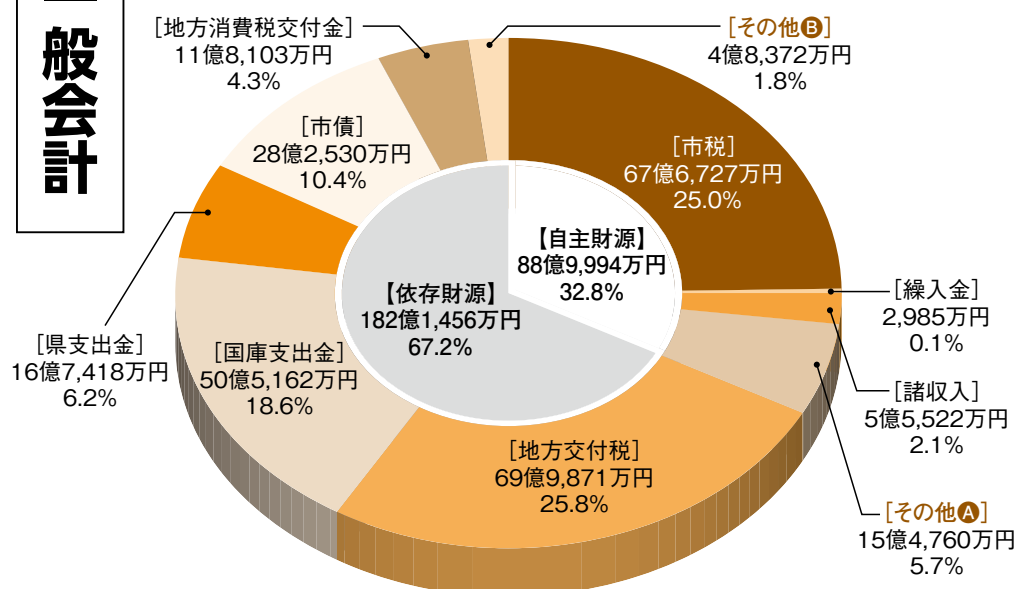
地方交付税やその他の歳入については増加したものの、国・県支出金や市債や繰入金が減少したため、歳入総合計は前年度より、13.2%減少となりました。

歳出 14.4%減

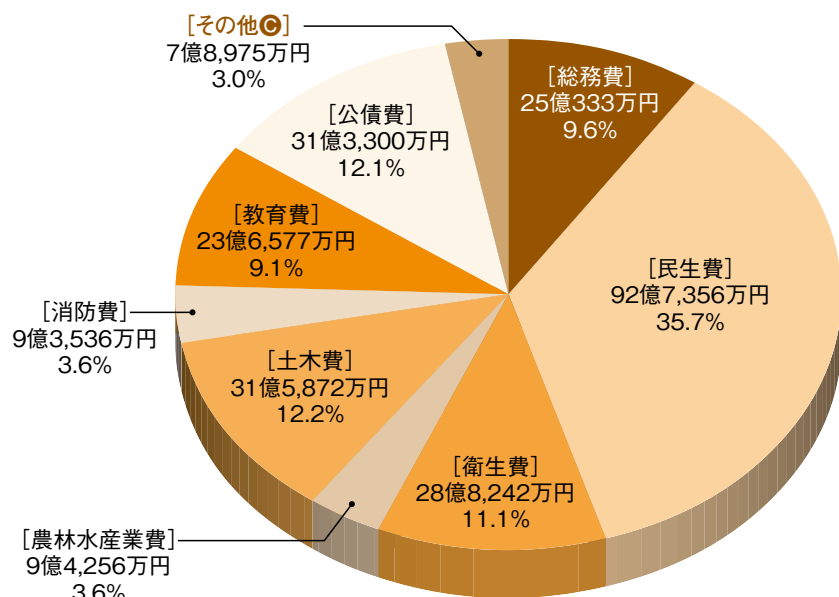
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う支援策として実施したプレミアムクーポン券事業費は増加したものの、特別定額給付金給付事業の完了に伴う皆減などにより歳出総額は前年度より、14.4%減少となりました。

一般会計

歳入合計 | 271億1,450万円



歳出合計 | 259億8,447万円



【その他の内訳】

A 歳入【自主財源】

分担金及び負担金	9,223万円
使用料及び手数料	2億9,609万円
財産収入	9,024万円
寄附金（ふるさと納税等）	5億5,665万円
繰越金	5億1,239万円

B 歳入【依存財源】

地方譲与税	1億9,043万円
利子割交付金	652万円
配当割交付金	5,221万円
株式等譲渡所得割交付金	5,818万円
法人事業税交付金	7,802万円
ゴルフ場利用税交付金	261万円
環境性能割交付金	1,167万円
地方特例交付金	8,007万円
交通安全対策特別交付金	401万円

C 歳出

議会費	2億4,772万円
商工費	5億3,583万円
災害復旧費	620万円

特別会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険 特別会計	60億6,134万円	59億7,444万円	8,690万円
後期高齢者医療 特別会計	17億2,387万円	17億2,119万円	268万円
介護保険 特別会計	69億3,495万円	68億1,565万円	1億1,930万円
赤坂地区排水処理事業 特別会計	1,568万円	1,335万円	233万円
同和対策住宅資金貸付事業 特別会計	485万円	1億6,730万円	△1億6,245万円
港湾施設事業 特別会計	2,011万円	1,231万円	780万円



企業会計の収支について

●収益的収支…

「損益計算書」ともいい、一会計年度の経営成績を把握するもの。一般的に黒字、赤字といわれるのは、この収支による。収入には一般会計からの繰入金も含まれる。

●資本的収支…

建設改良費や企業債償還金などの支出と企業債収入や出資金等の収入による、経営活動外の資本の増減に係る収支。

企業会計の決算額

会計名	収入	支出	差引
水道事業 会計	収益的収入 11億3,440万円	収益的支出 10億1,062万円	1億2,378万円
	資本的収入 4億4,930万円	資本的支出 8億3,268万円	△3億8,338万円
病院事業 会計	収益的収入 41億5,665万円	収益的支出 38億6,658万円	2億9,007万円
	資本的収入 2億1,115万円	資本的支出 3億4,904万円	△1億3,789万円

市民1人当たりの状況は？

入ったお金 56万263円(A)

市税	市民税、固定資産税など	14万円
繰入金	基金からの繰入金	6万円
諸収入	プレミアム付商品券売払収入の皆減など	1万1千円
地方交付税	自治体間の収入格差是正のため国から交付されるお金	14万5千円
国庫支出金	使途を限定し国から交付されるお金	10万4千円
県支出金	使途を限定し県から交付されるお金	3万5千円
市債	財務省・銀行等からの長期借入金	5万8千円
地方消費税交付金	地方消費税の市へ交付されるお金	2万4千円
その他	繰越金、手数料、地方譲与税など	4万2千円

貯金と借金はいくら？

貯金(基金)残高 6万2千円(総額30億1,463万円)
借金(市債)残高 70万2千円(総額339億8,880万円)

一般会計

使ったお金 53万6,914円(B)

総務費	企画や財務、徴税など	5万2千円
民生費	障害者や高齢者の福祉など	19万2千円
衛生費	感染症予防やごみ処理など	6万円
農林水産業費	農林水産業の振興費	1万9千円
土木費	道路・河川、市営住宅など	6万5千円
消防費	消火・救急、火災予防など	1万9千円
教育費	学校、生涯学習、文化など	4万9千円
公債費	市債の償還元金や利子など	6万5千円
その他	議会費、商工費、災害復旧費	1万6千円

次年度に使うため繰り越すお金 4,294円(C)

実質収支額 19,055円(A-B-C)
※令和4年3月末人口48,396人で算出。

歳入歳出決算審査における主な質疑

消費者保護事業

問 消費者保護事業で相談に対応した件数と内容は。

答 令和3年度は153件で、内容は「スマホに送られてくる未納金催告メッセージによるトラブル」、「意図せぬ定期購入の解約を巡るトラブル」など様々である。令和2年度は177件、令和元年度は173件に対応した。

問 被害を免れた金額は。

答 対応した中で具体的に換算できる案件は限定されるが、令和3年度は累計24件で、530万円相当、令和2年度は累計20件で、390万円相当、令和元年度は累計21件で、1,450万円相当であった。

防犯灯設置等補助事業

問 防犯灯の設置費用について、自治会に加入している方々が

負担し、加入していない方々が負担から逃れているという矛盾が出ているのでは。

答 自治会にも費用を一定負担いただくことにより、限られた予算の中で設置可能基数などを増やすことができる。負担に関わる矛盾については、自治会加入率の低下問題と符合する事項でもあるため、会合などの機会を捉えて、今後あらためて議論を進めていきたいと思う。

結婚サポートセンター事業

問 昨年度から変更した事業の内容は。

答 イベント開催型事業から結婚相談所事業を営む事業者への委託に変更した。

問 令和3年度の事業の成果は。

答 男性4人、女性4人の8人に登録いただき、1人の女性が結婚された。

問 この事業の今後の展開は。

答 今までは海南市在住の市民の方のみを対象としていたが、今後は市内事業所に在勤の方も登録可能とし、広報等にもより力を入れ、登録者数の増加を図ってきたい。

クリーンセンター運営事業

問 委託している業務内容は。

答 市民による直接搬入ごみの受入れ、資源ごみの分別処理、粗大ごみの破碎処理、リユース事業、事務所を含む敷地内の清掃などである。

問 令和3年度から委託したことによる成果は。

答 実績のある民間事業者へ委託することにより、きめ細やかなサービスを提供できるようになった。また、受付時間を延長したことで市民サービスの向上が図られた。

○一般会計

反対

和歌山地方税回収機構は、毎年、数百円という少額の差押えが続いている。資力がない債務者まで移管されており、移管件数も3年度は10件と大変少なくなっていることから、すでに回収機構の役割は終わっていると考えられる。（岡 義明）

○後期高齢者医療特別会計

反対

団塊の世代の先頭が後期高齢者医療保険の被保険者になってきており、今年10月には新たに2割負担の枠が設けられるが、被保険者の負担を増やさなければ維持できない制度はすでに破綻しているのではないかと。（岡 義明）

討論
決算にかか

決算審査に係る意見書を提出



決算審査の中で出された意見や要望について、新年度予算に反映することを求めるため、予算決算委員会で下記の意見書を取りまとめました。意見書は9月26日、議長から副議長、予算決算正副委員長とともに市長に提出しました。

1 人権尊重推進事業について

地区人権尊重推進委員の高齢化等により、これまで同様の活動を将来にわたって維持していくことが難しくなると予測されるため、実施手法等の見直しについて検討するとともに、新たな担い手の確保に努められたい。

2 個人番号カード交付事業について

個人番号カードの利便性を高めるための検討を行い、さらなる交付率の向上に努められたい。

3 ため池等災害対策事業について

今後、発生が予想される集中豪雨等によるため池の決壊や越水を想定し、市民に一層情報を共有して、引き続き調査・改修を進められたい。

4 中小企業設備投資事業について

中小製造業は本市にフレッシュマネー（新規流入資金）をもたらす重要な産業であることを重ねて認識し、予算額、補助対象や補助率の充実と広報の強化を図られたい。

5 住宅耐震化事業について

住宅の耐震化をさらに促進するため、自己負担額の軽減と工事に係るコストの低減を図るための環境づくりについて働きかけを進められたい。

6 結婚サポートセンター事業について

成婚者の定住を促進するため、包括的な取組を進めるとともに、事業者等を通じて広報の強化に努められたい。

7 最終処分場運営事業について

水質汚染、火災等の発生を将来にわたり防止するため、埋立て終了後の管理を見据えた整備を進められたい。

8 読書活動推進事業について

児童・生徒の読書活動を推進するため、文部科学省が策定した第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき、学校図書館の整備充実に努められたい。

水道料金審議会を設置

議案第45号 海南市水道料金審議会条例

こんな質問がありました

問：この審議会は水道料金の引き上げを見据えての審議会か。

答：今回の審議会は、将来にわたり、本市の水道事業を安定的に経営していくため、本市の水道料金はどうか、料金改定の必要性を含め、一から幅広く審議・検討いただくために設置するものである。

問：人口ビジョンを含め、将来を見据えた審議会とするべきではないか。

答：水道部では将来を見据え、事業計画の見直しを行っているところであり、投資と財政の収支などのシミュレーションを行った上で、審議会において、検証を行っていただき、審議・検討をお願いしたいと考えている。



高規格救急車を購入

議案第62号 財産の取得

高規格救急車とは、救急救命士制度が導入され、より高度な救命処置等ができるように、様々な資器材が搭載された車両です。

高規格救急車では、心肺停止などの重篤な傷病者に医療行為を行うため、従来の救急車よりも揺れが軽減されたり、救急隊員が立ったまま処置が行えるよう天井が高くなっています。

● 購入金額 …… 3,498 万円



働くパパ・ママを支援

議案第47号 海南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

育児を行う職員の「仕事と家庭の両立」をより柔軟な育休制度で支援します。

こんな質問がありました

問：改正の内容は。

答：育休の取得回数制限を緩和し、子の出生後8週間以内の育休も含めると4回までの育休を取得できるようにすることで、補助的な短期間の育休取得や夫婦交替での育休取得など、より柔軟な取得が可能となる。



市長・副市長の給料を減額

議案第63号 市長及び副市長の給料の特例に関する条例

収賄事件に関し、市政に混乱をもたらし、本市の信頼を著しく失墜させたことを厳粛に受け止め、組織管理上の責任を明らかにするため、市長及び副市長の給料の1割を3カ月減額します。

こんな質問がありました

問：減額の期間や率はどのようにして決めたのか。

問：特別職報酬等審議会などへ意見を聞かなかったのか。

答：基準はないが、過去の近隣自治体の例や類似事件を参考にした。

答：特別職報酬等審議会は通常の報酬を審議するところであるため、今回の減額については諮問していない。

議案第49号 令和4年度一般会計補正予算(第4号)

オミクロン株対応のワクチン接種を

1億2,232万円

■事業内容：新型コロナウイルスワクチン接種について、従来型ワクチンの2回目までの接種が完了した全ての市民に対し、オミクロン株対応のワクチン接種を行います。

こんな質問がありました

問：子供は何歳からの接種となるのか。

答：12歳以上になる。

問：本市においてワクチン接種による重い副反応はあったか。

答：令和3年度に3件の予防接種救済制度の申請を受け付けている。3人とも重篤ではなく今は元気に過ごされている。



2つの特別委員会を設置しました!

発議第4号

地域公共交通対策特別委員会

市民が通勤、通学や買い物などをする際、利用しやすい移動手段を確保することは本市のまちづくりを推進する上で極めて重要な取り組みである。行政と事業者が多種多様な交通手段を組み合わせ交通の最適化、効率化を図ることに加え、調査研究を進めるなかで、市民目線での提言や提案を行うため本特別委員会を設置する。

◎委員長 ○副委員長

◎森下貴史 ○岡 義明

橋爪大輔 池原弘貴 古田充司 寺脇寛治
栗本量生 東方貴子 田村秀明

発議第5号

水道事業対策特別委員会

水道は市民生活にとって重要なライフラインであり、災害時においても安全で良質な水を安定的に供給することが求められる。しかしながら、本市の室山浄水場は老朽化しており、導水管は更新されているにもかかわらず、有収率は低い状況であることから、本市の水道事業について調査研究を行うため本特別委員会を設置する。

◎委員長 ○副委員長

◎川口政夫 ○溝口恵敬

熊野愛子 米原耕司 宮本憲治 杉本博美
川崎一樹 榊原徳昭

発議第6号については賛成少数により否決となりました。

安倍元首相の国葬の中止を求める意見書(案)

無法な暴力で命を落とした安倍元首相に対して、追悼の気持ちをもっておられる人々も含め、安倍元首相の政治的評価は大きく二分している。こうしたなかで、国家が国葬に踏み出すことは、事実上すべての国民に弔意を求めることになり、あってはならないことである。

安倍元首相の国葬は、事実上、国家として国民に弔意を強要することにつながるとともに、法的根拠もないため、中止することを強く求める。(要旨)



○発議第6号

反対 諸外国からは、国家元首・首脳レベルを含め、多数の参列希望が寄せられており、こうした各国からの敬意と弔意に対し、日本国として最高の弔意を表す中で世界からの弔問をお受けすることが重要だと考える。(米原 耕司)

賛成 現行の国民主権の憲法において、国家が主導する国葬はあり得ない。弔意というものは、誰に対してでも個人の内心の自由に関わるもので、国家が音頭をとって実施することは、憲法違反以外の何物でもない。(岡 義明)

賛成 安倍元首相の国葬は法に基づかないものであり、税金を投入することは間違いである。(溝口 恵敬)

賛成 ・国葬が旧統一教会の違法行為を後押しする恐れを否定できない。

・法的根拠となる規定が存しない。
・多くの世論調査で反対する国民が多数となっている。

以上の理由で国葬の中止に賛成する。(宮本 憲治)

請願第1号については賛成少数により不採択となりました。

国に所得税法第56条の廃止の意見書提出を求める請願

家族従業者に労働の対価として支払う正当な報酬を必要経費と認めない所得税法第56条を廃止し、家族従業者の地位向上と人権を保障することを強く要望する。(要旨)



○請願第1号

反対

女性の社会進出が一般化し、新たな方法を引き続き検討する必要はあるが、課税の公平性の観点から単に所得税法第56条だけを廃止するのではなく、現時点においては、青色申告を推奨すべきと考える。

(米原 耕司)

賛成

所得税法第56条を廃止し、親族以外の労働者と同様に親族労働者にも労働にふさわしい所得を認めるべきである。

(溝口 恵敬)



議会基本条例の検証を行いました。

議会基本条例は、市長とともに市民の代表である議会として、民主的な市政の発展及び市民の福祉の増進に寄与するため、海南市議会の最高規範として制定したものです。

この条例では、議会及び議員の活動原則、市民と議会・議会と行政の関係、議会運営・機能強化、議員の政治倫理、身分及び待遇等について規定しています。

また、この条例の目的が達成されているかどうか、一般選挙ごとに検証することとしています。条例制定後初めてとなる検証を7月5日、7月19日、8月2日の3日間にわたって実施しました。

検証結果につきましては、市ホームページに掲載しております。(下記 URL または QR コードからご覧いただけます。)

また、議員のさらなる資質の向上や、市政の発展につながるよう、検証結果をもとに今後の取り組みや対応について協議しました。

<https://www.city.kainan.lg.jp/kakubusho/gikaijimukyoku/shikumi/1514183675903.html>



所管事務調査

建設経済委員会

9月13日に「市営住宅について」調査しました。

【主な質疑応答】

問 市営住宅に関する長寿命化計画の考え方は。

答 将来の人口推計に基づき、10年先の必要戸数をもとにして計画している。

問 市営住宅の建て替え等について、入居者へのアンケートはとっているのか。

答 入居者を募集していない住宅において実施しているが、建て替え希望が8.9%であったのに対し、転居の予定はない又は転居したくないと言った意見が80%超となっており、建て替えや転居を希望しない意見が大多数という状況である。



問 今後の市営住宅の運営方法について、他の自治体の事例を参考に研究してもらいたい。

総務委員会

9月12日に「選挙制度のあり方全般について」調査しました。

【主な質疑応答】

問 期日前投票の3カ所は公的な場所であるが、例えば、民間の量販店など、集客の多いところで行うことを考えたことがあるか。

答 システム工事の費用と、例えば、参議院の期日前投票の全期間を設けるとなると、その期間、管理者、立会人、事務方などの人件費がかかるが、検討したいと思う。

問 山間部ではハイエースのような車で行う移動期日前投票所のほうが投票しやすいのでは。

答 移動期日前投票所を導入したところは当日の投票所をなくしている。期日前投票所を3カ所開けて、当日も47カ所開けるといのが、今のところ一番投票しやすいのではないかと考えている。移動期日前投票所は検討の余地があると

思うがどうか。

答 地区の人に聞いてみないと分からないので話をしたいと思う。



教育厚生委員会

9月16日に黒江小学校で学校給食について調査しました。

【主な質疑応答】

問 物価高騰に対する取り組みは。

答 教育委員会の予算から給食費を補填している。今後も栄養士との連携を密にし、今後の物価高騰の状況を注視しながら、対応していきたい。



問 地元の食材の活用は。

答 大東小学校では、地元のみかんを使って給食費の滞納についての取り組みは。

答 納付書送付、保護者に電話するなどしており、また、直接訪問することもある。

議案の審議結果

◎＝全会一致で可決・認定 ○＝賛成多数で可決 ×＝否決 ※請願 ×＝不採択

9月定例会		
議案番号	議案	結果
議案第44号	海南市道の駅条例	◎
議案第45号	海南市水道料金審議会条例	◎
議案第46号	海南市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第47号	海南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第48号	海南市促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	◎
議案第49号	令和4年度海南市一般会計補正予算（第4号）	○
議案第50号	令和4年度海南市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	◎
議案第51号	令和4年度海南市水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議案第52号	令和3年度海南市一般会計歳入歳出決算の認定	○
議案第53号	令和3年度海南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第54号	令和3年度海南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○
議案第55号	令和3年度海南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第56号	令和3年度海南市赤坂地区排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第57号	令和3年度海南市同和対策住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第58号	令和3年度海南市港湾施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	◎
議案第59号	令和3年度海南市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	◎
議案第60号	令和3年度海南市病院事業会計決算の認定	◎
議案第61号	財産の減額貸付	◎
議案第62号	財産の取得	◎
議案第63号	市長及び副市長の給料の特例に関する条例	◎
発議第4号	地域公共交通対策特別委員会の設置	◎
発議第5号	水道事業対策特別委員会の設置	◎
発議第6号	安倍元首相の国葬の中止を求める意見書（案）	×
請願第1号	国に所得税法第56条の廃止の意見書提出を求める請願	×

議案第44号 海南市道の駅を設置するもの 議案第45号 関連記事6ページ 議案第46号 水道料金審議会の委員の報酬の額を定めるもの 議案第47号 関連記事7ページ 議案第48号 関係省令の改正により課税免除の適用期間を延長するもの 議案第49号 関連記事7ページ 議案第50号 総額1,906万6千円の増額 議案第51号 総額68万3千円の増額 議案第52号 関連記事4ページ 議案第61号 海南駅北駐車場用地に整備する宿泊施設の建設工事期間中、同用地を減額して貸し付けるもの 議案第62号 関連記事6ページ 発議第4,5,6号 関連記事8ページ 請願第1号 関連記事9ページ

賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

会派・議員名 議案番号	公明党		日本共産党 海南市議会 議員団		無所属の会・日 本維新の会		市政クラブ			市民クラブ							自由 クラブ		結 果
	中 家 悦 生	森 下 貴 史	岡 義 明	溝 口 恵 敬	古 田 充 司	熊 野 愛 子	栗 本 量 生	田 村 秀 明	宮 本 憲 治	寺 脇 寛 治	川 崎 一 樹	榊 原 徳 昭	米 原 耕 司	池 原 弘 貴	杉 本 博 美	橋 爪 大 輔	川 口 政 夫	東 方 貴 子	
議案第49号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第52号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第54号	議長	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
発議第6号	議長	×	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
請願第1号	議長	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

※議長は賛否に加わることができません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

討論

○議案第49号

反対

総合行政システム運営事業は、国が主導し推し進めてきたもので、自治体の行政手続きのオンライン化事業の一環であるが、目的や本質は国民にほぼ知られておらず、国の計画は間違いである。（岡 義明）

一般質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、現在の状況や将来の方針等を質問したり、提言することで、政策の見直しなども行われます。

9月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。



ここが聞きたい!! 5人が市政を問う

- 1 東方 貴子** (13 ページ) 
- 県のヤングケアラー調査について
 - 生活保護申請の際の扶養照会について

◎敬老会廃止について

- 2 森下 貴史** (13 ページ) 
- 農業の今後の展望について
- ◎認知症対策について
- 狹隘道路について

- 3 溝口 恵敬** (14 ページ) 
- ◎災害に備えるために
- インボイス制度について
 - 投票率向上に向けた政治不信の払拭について

- 4 栗本 量生** (14 ページ) 
- ◎今回の不祥事について
- 災害関連死支援制度について

- 5 岡 義明** (15 ページ) 
- 本市に係るインボイス発行対象事業の対応について
- ◎今こそ「非核平和宣言都市」としての実効ある取り組みを

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

決算

議案

議案・補正予算

発議

請願・基本条例の検証

所管事務調査

審議結果

一般質問



東方 貴子

敬老会廃止の経緯は

● 超高齢社会を見据え、「生活支援体制整備事業」へ移行

問 敬老会廃止の経緯は。

答 事業仕分けの結果などに加え、参加

者数が少ないことや高齢者が一堂に会するイベントは感染リスクが伴うことなどの理由から廃止とし、その予算を「生活支援体制整備事業」に組み替えた。

問 「生活支援体制整備事業」で行っている内容は。

答 社会福祉協議会へ委託し、高齢者の集いの場づくりなど、地域の課題整理に努め、市内17地区に協議体の設置を目指し、地域の

困りごとの解決策を自分たちで考える仕組みづくりを行っている。

問 何年から実施されているのか。敬老

会の予算270万円が計上される以前の委託料はいくらか。また、現在、何地区に設置できているのか。

答 平成27年から取り組んでおり、令和3年の委託料は486万円、令和3年末時点で7地区に設置している。

問 この事業は高齢者が楽しめるイベントは開催できるのか。



答 大規模なものは行えないが、気軽に集える場づくりを行っている。

問 高齢者が楽しみにされ外出のきっかけとなる事業の実施できないのか。

答 すでにある外出のきっかけとなる事業の広報に努める。

認知症予防のため先進事例の取り組みが必要

● 課題もあるが事例を参考に検討していく



森下 貴史

問 認知症予防に関してヒアリングフレイル予防が注目されている。聞こえにくさから、会話に参加することが困難になり、フレイル・認知症の原因になると言われているが、市の取り組みは。

答 介護予防教室など機会を捉えて、聴力に不安を感じる場合は早期に医療機関を受診するよう働きかけを行っている。

問 アプリを活用したヒアリングフレイルチェックを無料で実施している自治体もある。また、早期発見できれば、進行を緩やかにすることができると、先進事例を参考にしながら、積極的に取り組んでいただきたいと思う。例えば、四街道市では、認知症の前段階とされる軽度認知障害の早期発見を目的

として、高齢者が自宅などから電話で気軽に実施できる頭の健康チェックを導入されているが、このようなシステムの導入も必要と考えるがどうか。

答 早期の対応につなげるための頭の健康チェックなどの取り組みは必要であると考えるが、チェック後のフォローや受皿となる体制整備が課題となるため、先進事例を参考に検討していきたい。



土砂災害を防ぐために市民の協力が必要

●自治会での研修会の開催など取り組んでいく



溝口 恵敬

問 自然災害は、早めに対処することが重要であるが、そのような情報が市にはあまり届いていない。県や市の取り組み強化は重要だが、市民の協力も必要である。そのためには、市民に正しい認識を持っていたら、何をすべきかを示すのは市の役割だと思うがどうか。

答 市民から県へ直接要望された場合は、市に情報が提供されない場合もある。市では、情報提供の協力を依頼しており、来年度以降、危険性が高い山間部の自治会での研修会の開催を考えている。

問 市報などで前兆発見の呼びかけをし、その後、市民からの報告は増えたか。

答 土砂災害の前兆現象を確認したとの報告はない。

問 土砂災害の警戒区域は、危険であることが確認された場所であるが、継続的に兆候を察知する取り組みは行われているか。

答 地すべり対策工事が行われたあとは、一定期間の観測が行われている。

問 警戒区域以外でも心配な場所があるが、地滑り巡視員のような制度の導入の検討は。

答 土砂災害の対策事業を所管する県に働きかけていきたい。



栗本 量生

問 当該元職員の採用時から今日に至るまでの行動について、どこまで把握し、どのような対応をしたか。

答 元職員は、平成21年4月採用で言葉遣いや態度、行動が悪いことも多々あったが、担当する業務は、責任をもって完遂するなど信頼できる職員でもあった。現場や各事業の所管課との打ち合わせのため、在席していることが少なかった。所属上司としては改善すべき点について、時には反発も受け止めながら、根気よく何度も注

不祥事をおこした元職員の行動とその対応は

●改善すべき点については、改善に向かうよう対応

意、指導を行った。結果として大きく改めることはできなかったが、正面から向き合い、少しずつ改善に向かうよう、精一杯の対応をしてきた。

問 勤務中のアルバイト、下請行為についてどこまで把握していたか。

答 勤務時間内については、そういった行為は行っていない。下請行為については、勤務終業後に自宅で行っていったものである。中途採用者に対する教育は。



答 採用時に新規採用職員研修を行っており、特に公務員倫理については、新たに制定した職員倫理規程について説明を行い、これまでより丁寧に研修を行っている。

問 厚労省と広島市、長崎市が協力した取り組みに「被爆者体験伝承者等派遣事業」

答 小学校及び中学校の社会科で、全国各地空襲、沖縄戦、広島・長崎の原爆投下の惨禍や、国際平和に向けた世界的な取り組みを学ぶことで、命の尊さと人格の尊厳を認識し、相互に理解し合うなど、発達段階に応じた学習を進めている。

答 平和首長会議に加盟し、核兵器廃絶活動に賛同してきた。また、毎年の原水爆禁止平和行進に激励メッ

問 平和を守る取り組みとして市はどのような取り組みを行ってきたのか。

答 被爆体験者から学ぶことは、唯一の戦争被爆国として重要であると考えている。平和学習の取り組みの一つとして、校長会等で紹介したい。

問 終戦77年目を迎え、核兵器廃絶平和宣言都市として、学校現場における平和学習等の取り組みは。

答 があり、それを活用することで、さらに平和教育の幅が広がると思っている。



岡 義明

平和学習等の取り組みはどうか

● 発達段階に応じた学習をすすめている

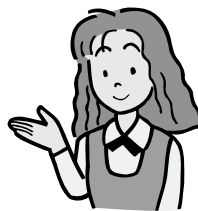


市役所前で行われた出発式

セージを発するとともに、8月6日、9日の広島・長崎の原爆投下時刻や、8月15日の全国戦没者追悼式に合わせて、庁内放送で黙祷の呼びかけなどを行ってきた。

市議会ホームページから生中継がご覧いただけます

ホームページでは、市議会の日程や議案などの情報を掲載しています。また、会議録を閲覧いただけるほか、本会議の生中継や委員会の録画映像の配信（約10日後から）も行っていますので、ぜひご利用ください。



市議会だよりへのご意見をお聞かせください

よりよい紙面とするため、議会だよりに関する皆さま方のご意見等をお寄せください。

11月定例会の予定

市議会の定例会は年4回開催され、**次の11月定例会は11月24日（木）に開催する予定です。**なお、日程は変更することがありますので、傍聴を希望される場合や本会議の生中継をご覧になる場合は、お手数ですが議会事務局まで日時をお問い合わせください。

傍聴にお越しの際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や手指の消毒等の御協力をお願いします。また、発熱などの症状のある方は傍聴をご遠慮ください。

海南市議会事務局
〒642-8501
海南市南赤坂11番地

TEL/073-483-8700 FAX/073-483-8703
Eメール/gikaij@city.kainan.lg.jp
HP/https://www.city.kainan.lg.jp/shiseijoho/shigikai/



ホームページQRコード

小学生が議場見学

10月14日、大野小学校の3年生が社会見学で議場を見学しました。

議長役の生徒の進行で海南市に関するクイズを行うと議員席などに座った子どもたちは元気いっぱい手を挙げ、答えていました。



海南・海草議会議員連絡協議会総会、今年は紀美野町で開催

海南・海草議会議員連絡協議会は、地域の発展と住民福祉の増進を図るため、海南市及び紀美野町の連携を図りながら調査研究を進めています。

今年の総会は8月3日に紀美野町中央公民館で開催しました。海南市長、紀美野町長、地元選出の県議会議員、海草振興局長から祝辞をいただき、続く会議において、前年度決算と本年度予算を承認・可決、協議会の運動方針を承認しました。



委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員
員 員 員 員 員 員 員 員 員 員
溝川 東田 池森 熊野 原
口 方 村 原 下 野 原
恵 政 貴 秀 弘 貴 愛 徳
敬 夫 子 明 貴 史 子 昭



10月16日、「第4回かいなんお菓子まつり」が3年ぶりに海南駅西側広場で開催され、お菓子釣りなどのイベントのほか、多くの出店が並び家族連れなどでにぎわいました。